

(令和元年6月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水産物全般	<p>6月の総入荷量は前年同月比で8%下回ったが、総取扱金額は水産物全般で需要が低迷したことから、前年同月比で6%下回った。</p> <p>7月27日は土用丑の日である。近年、稚魚のシラスウナギが不漁のため今年も国産物のうなぎは高値が続いているが、疲労回復に効果があるタウリンを多く含んでいるので、これからの厳しい夏の暑さを乗り切るために是非御賞味いただきたい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で台風や荒天の影響で8%下回ったが、単価は、需要の低迷により前年同月並みとなった。</p> <p>品目別には、よこわ、するめいかの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。かつお、たこの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で6%下回ったが、単価は消費が鈍かったことから前年同月並みとなった。</p> <p>品目別には、冷えびは入荷量、単価ともに前年同月並みとなった。冷さけの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は前年同月比で5%上回った。</p> <p>品目別には、ちりめんの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。塩さばの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	京都，三重で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量，単価ともに前年同月並みとなった。
ま い わ し	千葉，鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で7%下回り，単価は5%上回った。
さ ば	三重，千葉，鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で32%下回り，単価は15%上回った。
す る め い か	石川で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で17%上回り，単価は14%下回った。
太 物	総入荷量は前年同月並みとなったが，単価は刺身商材としての需要が伸びなかったことから12%下回った。
けん さ き い か	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で29%下回り，単価は21%上回った。
は も (近)	愛媛，兵庫で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で9%上回り，単価は12%下回った。

※太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚) 冷 さ ば	入荷量は前年同月比で26%上回ったが、単価は原料となるさばの水揚げの減少により値上がりしたことから前年同月並みとなった。
冷するめいか	入荷量は前年同月比で25%下回ったが、単価は生鮮物のするめいかの好調な入荷により需要が減少したことから3%下回った。
(加工水産物) 塩 さ け	入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は8%上回った。
身欠にしん	入荷量は前年同月比で54%下回り、単価は13%上回った。